



平成 28 年 5 月 18 日

各 位

会 社 名 株式会社セコニックホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 馬場 芳彦
 (コード番号 7758 東証第 2 部)
 問合せ先 取締役管理本部長 鈴木 章浩
 (TEL 03-5433-3611)

営業外費用および特別損失の計上ならびに業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 28 年 3 月期（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）におきまして、営業外費用（為替差損）および特別損失（事業整理損失）の計上を行うことと致しましたので、お知らせします。また、平成 28 年 2 月 10 日に公表しました平成 28 年 3 月期の通期業績予想を修正しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の計上について

当社は、平成 28 年 3 月期において、為替相場の大幅な変動により為替差損 199 百万円を営業外費用として計上する見込みとなりました。これは、主として、当社連結海外子会社への外貨建貸付金および海外連結子会社の外貨建債務を当期末時点の為替相場で評価替えしたことにより生じたものです。

2. 特別損失（事業整理損失）の計上について

当社の連結子会社である株式会社セコニック電子は、基板実装事業からの撤退を決めたことに伴い平成 28 年 3 月期第 2 四半期において、当面の生産計画にもとづき利用見込みの低い棚卸資産（原材料）の評価損を含め 157 百万円を特別損失（事業整理損失）に計上しておりますが、平成 28 年 3 月 24 日付「子会社の会社分割（簡易吸収分割）に関するお知らせ」で公表のとおり、平成 28 年 10 月 1 日を効力発生日として、当該事業を会社分割（吸収分割）し北部通信工業株式会社に承継することを決定しました。この決定を踏まえ、効力発生日までの生産計画を見直した結果、棚卸資産（原材料）の評価損 25 百万円を追加して事業整理損失 182 百万円を特別損失に計上する見込みとなりました。

3. 連結業績予想の修正について

(1) 平成 28 年 3 月期の連結業績予想の修正（平成 27 年 4 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想(A)	9,300	180	150	△80	△4.67
今回発表予想(B)	9,065	109	△86	△236	△13.78
増減額(B-A)	△234	△70	△236	△156	
増減率(%)	△2.5	△39.0	—	—	
(ご参考)前期連結実績 (平成 27 年 3 月期)	9,035	6	329	71	4.19

(2) 修正の理由

平成 28 年 3 月期の当社連結業績は、露出計や OMR 等の光学電子情報機器部門が好調でありましたが、事務機器部門が受託元企業の事業環境の変化等の影響から減収となるため、売上高は 9,065 百万円と前回予想を 234 百万円下回る見込みとなりました。損益面については、売上総利益率が相対的に高い光学電子情報機器部門の売上構成比が上昇したこと等により前期に比べ大幅に改善しましたが、新製品の販売が当初想定よりも低調であったこと等から、営業利益は 109 百万円と前回予想を 70 百万円下回る見込みとなりました。経常利益は、上記のとおり為替差損 199 百万円を営業外費用に計上することから、△86 百万円と前回予想を 236 百万円下回る見込みとなりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、上記のとおり基板実装事業からの撤退に係る事業整理損失 182 百万円を特別損失に計上することから、前回予想を 156 百万円下回り、△236 百万円となる見込みとなりました。

(注) 上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上